

2011(平成23)年

4月1日

第119号  
毎月発行

西東京市

# 公民館だより

編集  
公民館だより編集室

発行  
西東京市公民館

- 田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 柳沢公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
- 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
- 保谷駅前公民館 東町3-14-30 TEL 421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

## ようこそ西東京市へ

# 公民館活動へのおさそい



▲ロビーで語らう

桜咲く四月。出会いの季節。仕事の関係や進学などで、新たに西東京市にお住まいになる方も多くいらっしゃるのではないでしょうか。縁あって暮らすことになったこの街で、地元つきあい、趣味や学びを充実させていきませんか。

西東京市公民館では、地域での文化・学習活動を応援しています。

公民館は6館あり(配置図参照)、各館で主催事業の開催・サークル活動への施設提供・サークルや催し物情報の提供などを行っています。公民館ロビーでは、本を読んだりおしゃべりしたり、利用サークルの作品展示をご覧いただいたり、くつろいで過ごしていただけるよう配慮しています。気軽に立ち寄りください。

### 転入してきた人たちに聞きました

向台町在住の鰐淵将さんは30代。岐阜県で生まれ育ち、沖縄大阪に移り住んで、ちょうど1年前に西東京市に転入してきました。

鰐淵さんが、一人暮らしに孤独感を感じ、知り合いや友だちがほしいと思っていたとき、全戸配布されている「公民館だより」を目にし、お笑い講座、アカペラ講座、編集講座に参加しました。

それまでは、会場を借りるという使い方がしななかったため、西東京市の公民館が主体的な学びや仲間作りを大切にしていることに驚き感動したと言います。地域の仲間とつながり、新たな自分を発見することができました。



▲保育室で育つ

転入者へ向けてコメントもいただきました。

「今まで利用したこともない公民館の講座に参加することは、なかなかハードルの高いことかもしれませんが、でも今考えてみると、学習で得た知識だけでなく、いろいろな人とのつながりが

きました。

「地域の人に会うことで生活を実感でき、自分自身を知ることができました。公民館は、まるで家に帰ってきたように自分を受け入れてくれたんです」

次に6年前に関西から転入してきた藤原さん。利用のきっかけは保育付きの公民館主催講座でした。講座終了後、参加者で作ったサークル「so:so(ソソワク)」のメンバーとして現在活動しています。

「生活にメリハリがつかめました。サークル活動の間も、保育がつく2時間は子どもから離れてメンバーのみなさんとお話ができる大切な交流と情報交換の場になっています。また、子どもも保育員さんとふれあう中で成長し、人見知りをしなくなったり、自分より小さい子に優しく接するようになりました」と、藤原さん。

### すべての市民にひらかれた社会教育施設です

西東京市の公民館の運営は、公民館運営審議会の意見を聞きながら進めています。利用サークルの代表や公募市民、青少年育成の関係市民や社会教育の研究者など、さまざまな視点から公民館を見守っています。

「西東京委員は表の女性利用サークル代表の女性委員は」



▲かっぱれを楽しむ



できましたし、公民館は利用者の生活の幅を広げる可能性を秘めていると思います。転入者の方には、ぜひ勇気を持って一歩踏み込んでほしいと思います」

「公民館は無料で、時間があれば勉強ができます。公民館がなかったら、私、どこで勉強するんだらう」

公民館はあらゆる市民が学習できる社会教育施設として、「つつまなび・つなぐ」を目標として活動を進めています。

市の公民館の主催事業の内容はすばらしいと思います」と言います。また

「硬軟こりませて多様なサークル活動が展開されているのがすごいですね。公民館は学習の場というのを市民が実践しています」

そう語る背景には、40年ほど前の少女時代の記憶があります。「その時代、私の地方では、女が大学に行くなんて、という空気が感じました。私も大学には行かず、東京に出てきて、女性も自由にものを言っていたいんだ、と気づきました。そのとき、勉強したい、と思ったんです」

その思いを受け止めたのが公民館でした。

「公民館は無料で、時間があれば勉強ができます。公民館がなかったら、私、どこで勉強するんだらう」

目の不自由な方に声の「公民館だより」をお届けしています

谷戸図書館(☎421-4545)へお問い合わせを